# 社 会 学 研 究 科

# 研究指導概要

## 博士前期課程

### １．各セメスタの指導内容

１セメスタ

・指導教授の決定・「学位論文題目届」を提出する（４月）。
・指導教員と修士論文のテーマ・方法などについて相談する。
・博士前期（修士）課程における研究計画を検討し、先行研究の検討に着手する。
・研究テーマに合わせ、科目履修を進め、調査・実験等の方法論を修得する。

２セメスタ

・具体的な研究テーマに関して資料収集等を進め、当該分野の先行研究の検討を深め、学会での発表や論文投稿を目指し研究を具体化する。
・研究課題の意義・手法・先行研究などについて報告・討論し、研究者としてのプレゼンテーション力を養う。
・修士論文の方向性について指導教員と相談する（「研究指導」等）

３セメスタ

・「学位論文題目届」を提出する。　（４月）
・指導教員と修士論文のテーマおよび内容などについて相談・確認する
・資料収集・先行研究等の検討を続け、研究の視座・論理・手法の妥当性を検証し、必要に応じ実証的な知見を得たうえで、研究成果を取りまとめる。

４セメスタ

・研究の精度を高め、修士学位論文にまとめる。
・修士論文「審査願」に指導教授の署名・捺印を受け（修士論文提出時に必要・おおむね12月下旬～1月はじめ）、修士論文を「論文要旨」等とともに 提出する。（１月上旬）
・口頭試験を受ける。　（１月下旬～２月上旬）

### ２．論文報告会（論文発表会）等の概要と発表の要件等

＜社会学専攻＞

・「研究指導」等の場で年１－２回程度、中間報告を行う。

＜社会心理学専攻＞

・各学年において、年１－２回の中間報告会で進捗状況の報告を義務づける。また修士論文の提出後には、最終報告会で論文内容について報告することを義務づける。

＜福祉社会システム専攻＞

・２年次に専攻全体の修士論文中間報告会を７月と１月の年２回開催し、指導教授以外からも指導を受ける機会を設ける。
理論と実践の融合を具体的な研究テーマに纏め上げた成果を修士論文中間報告会で発表する。

### ３．特定課題研究論文

社会学専攻、福祉社会システム専攻では、修士学位論文に代えて特定課題研究論文の提出を認めている。

『特定課題研究論文』とは、「特定の課題について、実践的に調査・研究した論文」をいう。

（１）特定課題研究論文は、12,000字以上のものを３本提出する。
（２）修士学位論文または特定課題研究論文については、原則として入学時に選択する（２年次の７月末まで変更を認める）。
（３）修了単位として、社会学専攻は30単位以上、福祉社会システム専攻は36単位以上修得（見込）していること。

＜社会学専攻＞

①博士後期課程進学希望者は、修士学位論文を選択すること。
②特定課題研究論文の１・２・３本目については、主指導教授の指示を受け、適切な時期に、主・副指導教授に直接提出すること。また、３本まとめたものを、下記の通り、修士学位論文に準じた時期に、大学院教務課に提出する必要がある。３本まとめたものの提出にあたっては、提出時期・様式とも修士学位論文に準ずる。

| 題目届提出締切 | 論文提出時期（３本まとめたもの） | 提出先 |
|---|---|---|
| ４月 | 修士学位論文提出時期に同じ | 大学院教務課 |

③特定課題研究論文を選択した場合の研究指導スケジュールは、修士学位論文を選択した場合に準ずる。

＜福祉社会システム専攻＞

詳細は、入学ガイダンス時に説明する。

特定課題研究論文の審査は、修士論文の審査基準に準じる。

## 博士後期課程

１．各セメスタの指導内容（モデルケース）

１セメスタ

・博士後期課程における研究テーマの意義と展開を検討する。

・博士後期課程における研究計画を立案する。

２セメスタ

・研究テーマに即して資料収集等を進めるとともに、当該分野の先行研究の検討を深める。

・指導教授と相談の上、学会での発表・論文作成を目指して研究を具体化・実施する。

３セメスタ

・資料収集等を進め、かつ知見を深め広げるための先行研究等の検討を続ける。

・指導教授と相談の上、学会での発表・論文作成を目指して研究を具体化・実施する。

４セメスタ

・資料収集等を進め、かつ知見を深め広げるための先行研究等の検討をまとめる。

・指導教授と相談の上、学会での発表・論文作成を目指して研究を具体化・実施する。

・この時期までに査読付き雑誌に最低１本の論文を投稿・掲載されるよう努力する

５セメスタ

・主指導教授が、研究科委員会の承認のもとに、２名以上の本学教員（原則として所属する専攻の博士後期課程研究指導担当教員）とともに課程博士論文提出指導小委員会を構成し、論文が本審査を受けるに値するかどうかの審査が行われる。

・指導教授と相談の上、６月末ごろまでに博士論文の下書きを完成させる。

６セメスタ

・課程博士論文提出指導小委員会からの、本審査を受けるに値すると判断した旨の通知を受け、博士論文の本審査にむけて、論文内容を修正し、学位論文を提出し（11月上旬）、審査を受ける。

２．論文報告会（論文発表会）等の概要と発表の要件等

・毎年１－２回の中間報告を義務づける。

・論文提出後に開催される公聴会に参加し、発表する。

# 社会学研究科 社会学専攻・社会心理学専攻

# 専門社会調査士資格の取得について

専門社会調査士とは、下記の要件を満たした者について、一般社団法人 社会調査協会（以下、社会調査協会と呼称）に申請し、社会調査協会が認定する資格である。

**■資格申請のための要件**

**⑴ 社会調査士資格を有すること。**

〔2016年度以前入学生〕

社会調査士資格を有していない場合であっても、社会調査士資格の標準カリキュラムに対応する科目の単位を取得していれば、専門社会調査士資格を取得する際、同時に申請することができる（この場合、以下「E」・「F」科目は選択制、「G」科目は不要）。

また、所定の手続（「許可願」を提出）を行うことによって、本学社会学部で開講する社会調査士資格の下記科目を履修することができる。詳細は掲示で確認すること。

社会調査士資格の標準カリキュラム（社会学部開講科目）

| 区分 | 本学社会学部開講科目名 | 備考 |
|---|---|---|
| A | 社会調査入門Ａ／社会調査入門Ⅰ | セット履修 |
| B | 社会調査入門Ｂ／社会調査入門Ⅱ | |
| C | 統計情報処理および実習Ⅰ（第１部） | いずれか１科目で可 |
| | 統計情報処理および実習　（第２部） | |
| D | 社会統計学 | |
| E | 社会統計解析法 | いずれか１科目で可 |
| F | 質的調査法 | |
| G | 社会調査および実習 | 専門社会調査士資格を同時申請する場合は不要 |

※　特記がない限り、第１部・第２部双方で開講

※　希望する曜時限の科目が学部生で定員を超える場合等は、履修不可あるいは別の曜時限の同一科目に変更となることがある。

〔2017年度以降入学生〕

上記学部開講科目の履修を希望する場合は、所定の選考を経た上で、学部科目等履修生（科目履修生／諸資格履修生）として履修が認められる。

詳しくは p.66「21. 大学院生の学部開講科目の履修について」を参照すること。

**⑵ 以下の専門社会調査士科目「６科目」（12単位）を履修し、かつ単位を取得すること。**

（2014年度以前入学生は、入学年度の履修要覧を参考にすること）

①社会学専攻の場合

| 区分 | 社会学専攻開講科目名 | 単位数 |
|---|---|---|
| H | 社会学特論Ⅲ Ａ | ２単位 |
| | 社会学特論Ⅲ Ｂ | ２単位 |
| I | 社会学特論Ⅳ Ａ | ２単位 |
| | 社会学特論Ⅳ Ｂ | ２単位 |
| J | 社会学特論Ⅴ | ２単位 |
| | 社会学特論Ⅵ | ２単位 |

②社会心理学専攻の場合

| 区分 | 社会学専攻開講科目名 | 単位数 |
|---|---|---|
| H | 社会心理学研究法ⅡA | ２単位 |
| | 社会心理学研究法ⅡB | ２単位 |
| I | 社会心理学研究法ⅢA | ２単位 |
| | 社会心理学研究法ⅢB | ２単位 |
| J | 社会心理学研究法Ⅳ | ２単位 |
| | 社会心理学研究法Ⅴ | ２単位 |

**⑶ 社会調査結果を用いた研究論文（修士論文を含む）を執筆すること。**

・ここで言う社会調査とは、定量調査あるいは定性調査を指し、他者の調査したデータの二次的利用は含まない。
・定性調査には、内容分析、聞き取り調査、参与観察法、ドキュメント分析、フィールドワーク、インタビュー、ライフヒストリー分析、会話分析などを含む。
・修士論文以外の研究論文とは、原則として学術団体の学会誌に、査読を経て掲載された研究論文を指す。
・申請時には、研究論文（修士論文を含む）２部（同じものを２部）の提出が必要である。

## ■申請手続

大学院教務課を通じて社会調査協会に申請する。
「申請書類・提出方法・提出期間」の詳細は、2019年１月頃大学院教務課の掲示で確認すること。

申請に必要な書類

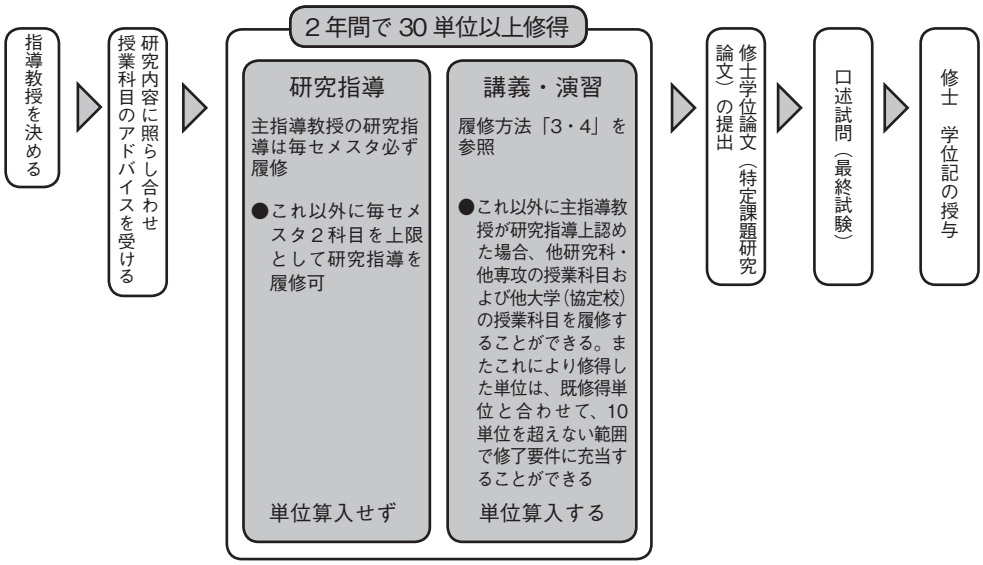
① 専門社会調査士認定申請書 ★
② 履歴書 ★
③ 研究論文概要説明書（修士論文を含む） ★
④ 研究論文（修士論文を含む）同じものを２部
⑤ 単位取得・修士修了を証明する書類 ☆
⑥ 手数料振り込み後の振替払込請求書兼受領証のコピー ☆（注）
【以下、社会調査士資格を同時に申請する場合のみ】
⑦ 社会調査士認定申請書 ★
⑧ 大学での単位取得・卒業を証明する書類 ☆

★：社会調査協会のホームページ（http://jasr.or.jp/）よりフォームをダウンロード、記入
☆：大学院教務課で入手

※ 大学院教務課で配付する振込用紙で、手数料を振り込み、振替払込請求書兼受領証のコピーを①に貼り付けること。
※ 手数料は、以下のとおり。
・ 社会調査士資格を取得している学生 ： 32,400円
・ 社会調査士資格を取得していない学生 ： 43,200円
（いずれも2017年度参考）

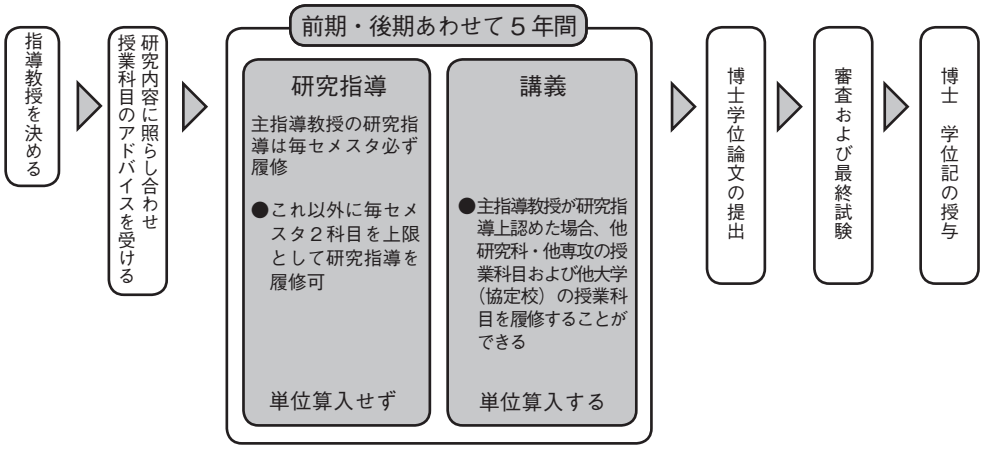
# 社 会 学 専 攻

前期課程　履修の流れ




ただし、2014年度以前入学生についてはセメスタを年度に読み替える

後期課程　履修の流れ




ただし、2014年度以前入学生についてはセメスタを年度に読み替える

# 社 会 学 専 攻

## 博士前期課程

| | 授業科目・研究指導 | | | | | | | 講義・演習の別 | 職名 | 担当教員 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 2014年度以前入学生適用 | 単位 | 2015年度以降入学生適用 | サブタイトル | 単位 | 科目ナンバリング | 学期 | | | | |
| 基礎科目 | 原書講読Ⅰ | 4 | 原書講読ⅠA<br>原書講読ⅠB | 現代社会学分野 | 2<br>2 | SOC601<br>SOC602 | 春<br>秋 | 講義 | 教授 | 中山伸樹 | |
| | 原書講読Ⅱ | 4 | 原書講読ⅡA<br>原書講読ⅡB | 社会文化共生学分野 | 2<br>2 | SOC603<br>SOC604 | 春<br>秋 | 講義 | 教授 | 山本須美子 | |
| | 原書講読Ⅲ | 4 | 原書講読ⅢA<br>原書講読ⅢB | 社会情報学分野 | 2<br>2 | SOC605<br>SOC606 | | 講義 | | | 本年度休講 |
| | 社会学特論Ⅰ | 2 | 社会学特論Ⅰ | 社会科学方法論 | 2 | SOC607 | 春 | 講義 | 非常勤講師 | 荒川敏彦 | |
| | 社会学特論Ⅱ | 4 | 社会学特論ⅡA<br>社会学特論ⅡB | 情報検索・データベース論 | 2<br>2 | SOC608<br>SOC609 | 春<br>秋 | 講義 | 教授 | 栗山和子 | |
| | 社会学特論Ⅲ | 4 | 社会学特論ⅢA<br>社会学特論ⅢB | 社会調査法 | 2<br>2 | SOC610<br>SOC611 | 春<br>秋 | 講義<br>講義 | 教授<br>教授(兼担) | 大谷奈緒子<br>山田一成 | |
| | 社会学特論Ⅳ | 4 | 社会学特論ⅣA<br>社会学特論ⅣB | 統計解析および多変量解析 | 2<br>2 | SOC612<br>SOC613 | 春<br>秋 | 講義 | 非常勤講師(兼担) | 久保沙織 | |
| | 社会学特論Ⅴ | 2 | 社会学特論Ⅴ | 質的調査法1 | 2 | SOC614 | 春 | 講義 | 准教授 | 長津一史 | |
| | 社会学特論Ⅵ | 2 | 社会学特論Ⅵ | 質的調査法2 | 2 | SOC615 | 秋 | 講義 | 教授 | 水野剛也 | |
| | 外国語表現法A | 2 | 外国語表現法A | 英語ライティング | 2 | FLE601 | 春 | 講義 | 非常勤講師 | トパロフ リュボミール | |
| | 外国語表現法B | 2 | 外国語表現法B | 英語プレゼンテーション | 2 | FLE602 | 秋 | 講義 | 非常勤講師 | グラフ デイヴィッド | |
| 現代社会学コース科目 | 社会学特論Ⅶ | 4 | 社会学特論ⅦA<br>社会学特論ⅦB | 現代社会思想論 | 2<br>2 | SOC616<br>SOC617 | 春<br>秋 | 講義 | 非常勤講師 | 中野敏男 | 隔年開講 |
| | 社会学特論Ⅷ | 4 | 社会学特論ⅧA<br>社会学特論ⅧB | 現代家族社会学 | 2<br>2 | SOC618<br>SOC619 | | 講義 | | | 本年度休講 |
| | 社会学特論Ⅸ | 4 | 社会学特論ⅨA<br>社会学特論ⅨB | 現代文化社会学 | 2<br>2 | SOC620<br>SOC621 | 春<br>秋 | 講義 | 教授 | 平島みさ | 社会学研究指導ⅡA／Bと共通 |
| | 社会学特論Ⅹ | 4 | 社会学特論ⅩA<br>社会学特論ⅩB | 現代地域社会学 | 2<br>2 | SOC622<br>SOC623 | | 講義 | | | 本年度休講 |
| | 社会学特論ⅩⅠ | 2 | 社会学特論ⅩⅠ | 特別講義 | 2 | SOC624 | 春 | 講義 | 非常勤講師 | 青木辰司 | |
| | 社会学演習Ⅰ | 4 | 社会学演習ⅠA<br>社会学演習ⅠB | 現代社会学理論 | 2<br>2 | SOC625<br>SOC626 | 春<br>秋 | 演習 | 教授 | 宇都宮京子 | 社会学研究指導ⅣA／Bと共通 |
| | 社会学演習Ⅱ | 4 | 社会学演習ⅡA<br>社会学演習ⅡB | 現代組織社会学 | 2<br>2 | SOC627<br>SOC628 | 春<br>秋 | 演習 | 准教授 | 小山裕 | 社会学研究指導ⅤA／Bと共通 |
| | 社会学演習Ⅲ | 4 | 社会学演習ⅢA<br>社会学演習ⅢB | 現代犯罪社会学 | 2<br>2 | SOC629<br>SOC630 | 春<br>秋 | 演習 | 准教授 | 本田宏治 | 社会学研究指導ⅥA／Bと共通 |
| | 社会学演習Ⅳ | 4 | 社会学演習ⅣA<br>社会学演習ⅣB | 現代宗教社会学 | 2<br>2 | SOC631<br>SOC632 | | 演習 | | | 本年度休講 |
| | 社会学演習ⅤA<br>社会学演習ⅤB | 2<br>2 | 社会学演習ⅤA<br>社会学演習ⅤB | 現代国際社会学 | 2<br>2 | SOC633<br>SOC634 | 春<br>秋 | 演習 | 教授 | 米原あき | 社会学研究指導ⅧA／Bと共通 |
| 社会文化共生学コース科目 | 文化人類学特論Ⅰ | 4 | 文化人類学特論ⅠA<br>文化人類学特論ⅠB | 社会文化共生論 | 2<br>2 | CUA601<br>CUA602 | 春<br>秋 | 講義 | 教授 | 井沢泰樹 | 文化人類学研究指導ⅣA/Bと共通 |
| | 文化人類学特論Ⅱ | 4 | 文化人類学特論ⅡA<br>文化人類学特論ⅡB | 文化共生史 | 2<br>2 | CUA603<br>CUA604 | 春<br>秋 | 講義 | 教授 | 三沢伸生 | |
| | 文化人類学特論Ⅲ | 4 | 文化人類学特論ⅢA<br>文化人類学特論ⅢB | 環境共生論 | 2<br>2 | CUA605<br>CUA606 | | 講義 | | | 本年度休講 |
| | 文化人類学特論Ⅳ | 4 | 文化人類学特論ⅣA<br>文化人類学特論ⅣB | 地域共生論 | 2<br>2 | CUA607<br>CUA608 | 春<br>秋 | 講義 | 教授 | 小林正夫 | 文化人類学研究指導ⅤA／Bと共通 |
| | 文化人類学特論Ⅴ | 4 | 文化人類学特論ⅤA<br>文化人類学特論ⅤB | 社会貢献概論 | 2<br>2 | CUA609<br>CUA610 | 春<br>秋 | 講義 | 教授 | 浜本篤史 | 文化人類学研究指導ⅠA／Bと共通 |
| | 文化人類学特論Ⅵ | 4 | 文化人類学特論ⅥA<br>文化人類学特論ⅥB | 民族誌学 | 2<br>2 | CUA611<br>CUA612 | 春<br>秋 | 講義 | 准教授 | 長津一史 | 文化人類学研究指導ⅥA／Bと共通 |
| | 文化人類学特論Ⅶ | 4 | 文化人類学特論ⅦA<br>文化人類学特論ⅦB | 文化人類学 | 2<br>2 | CUA613<br>CUA614 | 春<br>秋 | 講義 | 教授(兼担) | 松本誠一 | |
| | 文化人類学特論Ⅷ | 2 | 文化人類学特論Ⅷ | 特別講義 | 2 | CUA615 | | 講義 | | | 本年度休講 |
| | 文化人類学特論Ⅸ | 4 | 文化人類学特論ⅨA<br>文化人類学特論ⅨB | 社会貢献組織論 | 2<br>2 | CUA616<br>CUA617 | 春<br>秋 | 講義 | 非常勤講師 | 桔川純子 | |
| | 文化人類学演習Ⅰ | 4 | 文化人類学演習ⅠA<br>文化人類学演習ⅠB | 社会人類学 | 2<br>2 | CUA618<br>CUA619 | | 演習 | | | 本年度休講 |
| | 文化人類学演習Ⅱ | 4 | 文化人類学演習ⅡA<br>文化人類学演習ⅡB | 教育人類学 | 2<br>2 | CUA620<br>CUA621 | 春<br>秋 | 演習 | 教授 | 山本須美子 | 文化人類学研究指導ⅢA／Bと共通 |

| | 授業科目・研究指導 | | | | | | | 講義・演習の別 | 職名 | 担当教員 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 2014年度以前入学生適用 | 単位 | 2015年度以降入学生適用 | サブタイトル | 単位 | 科目ナンバリング | 学期 | | | | |
| メディアコミュニケーション学コース科目 | 社会情報学特論Ⅰ | 4 | 社会情報学特論ⅠA<br>社会情報学特論ⅠB | マス・コミュニケーション論 | 2<br>2 | SOC635<br>SOC636 | 春<br>秋 | 講義 | 教授 | 長広美 | 社会情報学研究指導VA/Bと共通 |
| | 社会情報学特論Ⅱ | 4 | 社会情報学特論ⅡA<br>社会情報学特論ⅡB | 広告論 | 2<br>2 | SOC637<br>SOC638 | 春<br>秋 | 講義 | 准教授 | 薗部靖史 | 社会情報学研究指導VIA/Bと共通 |
| | 社会情報学特論Ⅲ | 4 | 社会情報学特論ⅢA<br>社会情報学特論ⅢB | 社会情報学 | 2<br>2 | SOC639<br>SOC640 | 春<br>秋 | 講義 | 教授 | 中村功 | 社会情報学研究指導ⅢA②/B②と共通 |
| | 社会情報学特論Ⅳ | 4 | 社会情報学特論ⅣA<br>社会情報学特論ⅣB | 情報学 | 2<br>2 | SOC641<br>SOC642 | | 講義 | | | 本年度休講 |
| | 社会情報学特論Ⅴ | 2 | 社会情報学特論Ⅴ | 特別講義 | 2 | SOC643 | 春 | 講義 | 非常勤講師 | 石山玲子 | |
| | 社会情報学演習Ⅰ | 4 | 社会情報学演習ⅠA<br>社会情報学演習ⅠB | マス・コミュニケーション論 | 2<br>2 | SOC644<br>SOC645 | 春<br>秋 | 演習 | 教授 | 大谷奈緒子 | 社会情報学研究指導ⅠA/Bと共通 |
| | 社会情報学演習Ⅱ | 4 | 社会情報学演習ⅡA<br>社会情報学演習ⅡB | ジャーナリズム論 | 2<br>2 | SOC646<br>SOC647 | 春<br>秋 | 演習 | 教授 | 水野剛也 | 社会情報学研究指導ⅡA/Bと共通 |
| | 社会情報学演習Ⅲ | 4 | 社会情報学演習ⅢA<br>社会情報学演習ⅢB | 社会情報学 | 2<br>2 | SOC648<br>SOC649 | | 演習 | | | 本年度休講 |
| | 社会情報学演習Ⅳ | 4 | 社会情報学演習ⅣA<br>社会情報学演習ⅣB | 情報学 | 2<br>2 | SOC650<br>SOC651 | 春<br>秋 | 演習 | 教授 | 海野敏 | 社会情報学研究指導ⅣA/Bと共通 |
| 現代社会学コース研究指導 | 社会学研究指導Ⅰ | | 社会学研究指導ⅠA<br>社会学研究指導ⅠB | 現代家族社会学 | | REG601<br>REG602 | | | | | 本年度休講 |
| | 社会学研究指導Ⅱ | | 社会学研究指導ⅡA<br>社会学研究指導ⅡB | 現代文化社会学 | | REG603<br>REG604 | 春<br>秋 | | 教授 | 平島みさ | 社会学特論ⅨA/Bと共通 |
| | 社会学研究指導Ⅲ | | 社会学研究指導ⅢA<br>社会学研究指導ⅢB | 現代地域社会学 | | REG605<br>REG606 | | | | | 本年度休講 |
| | 社会学研究指導Ⅳ | | 社会学研究指導ⅣA<br>社会学研究指導ⅣB | 現代社会学理論 | | REG607<br>REG608 | 春<br>秋 | | 教授 | 宇都宮京子 | |
| | 社会学研究指導Ⅴ | | 社会学研究指導ⅤA<br>社会学研究指導ⅤB | 現代組織社会学 | | REG609<br>REG610 | 春<br>秋 | | 准教授 | 小山裕 | |
| | 社会学研究指導Ⅵ | | 社会学研究指導ⅥA<br>社会学研究指導ⅥB | 現代犯罪社会学 | | REG611<br>REG612 | 春<br>秋 | | 准教授 | 本田宏治 | |
| | 社会学研究指導Ⅶ | | 社会学研究指導ⅦA<br>社会学研究指導ⅦB | 現代宗教社会学 | | REG613<br>REG614 | | | | | 本年度休講 |
| | 社会学研究指導ⅧA<br>社会学研究指導ⅧB | | 社会学研究指導ⅧA<br>社会学研究指導ⅧB | 現代国際社会学 | | REG615<br>REG616 | 春<br>秋 | | 教授 | 米原あき | |
| 社会文化共生学コース研究指導 | 文化人類学研究指導Ⅰ | | 文化人類学研究指導ⅠA<br>文化人類学研究指導ⅠB | 社会貢献概論 | | REG617<br>REG618 | 春<br>秋 | | 教授 | 浜本篤史 | |
| | 文化人類学研究指導Ⅱ | | 文化人類学研究指導ⅡA<br>文化人類学研究指導ⅡB | 社会人類学 | | REG619<br>REG620 | | | | | 本年度休講 |
| | 文化人類学研究指導Ⅲ | | 文化人類学研究指導ⅢA<br>文化人類学研究指導ⅢB | 教育人類学 | | REG621<br>REG622 | 春<br>秋 | | 教授 | 山本須美子 | |
| | 文化人類学研究指導Ⅳ | | 文化人類学研究指導ⅣA<br>文化人類学研究指導ⅣB | 社会文化共生論 | | REG623<br>REG624 | 春<br>秋 | | 教授 | 井沢泰樹 | |
| | 文化人類学研究指導ⅤA<br>文化人類学研究指導ⅤB | | 文化人類学研究指導ⅤA<br>文化人類学研究指導ⅤB | 地域共生論 | | REG625<br>REG626 | 春<br>秋 | | 教授 | 小林正夫 | |
| | 文化人類学研究指導ⅥA<br>文化人類学研究指導ⅥB | | 文化人類学研究指導ⅥA<br>文化人類学研究指導ⅥB | 民族誌学 | | REG627<br>REG628 | 春<br>秋 | | 准教授 | 長津一史 | |

| | 授業科目・研究指導 | | | | | | | 講義・演習の別 | 職　名 | 担　当　教　員 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 2014年度以前入学生適用 | 単位 | 2015年度以降入学生適用 | サブタイトル | 単位 | 科目ナンバリング | 学期 | | | | |
| メディアコミュニケーション学コース研究指導 | 社会情報学研究指導Ⅰ | | 社会情報学研究指導ⅠA<br>社会情報学研究指導ⅠB | マス・コミュニケーション論 | | REG629<br>REG630 | 春<br>秋 | | 教　授 | 大　谷　奈緒子 | |
| | 社会情報学研究指導Ⅱ | | 社会情報学研究指導ⅡA<br>社会情報学研究指導ⅡB | ジャーナリズム論 | | REG631<br>REG632 | 春<br>秋 | | 教　授 | 水　野　剛　也 | |
| | 社会情報学研究指導Ⅲ① | | 社会情報学研究指導ⅢA①<br>社会情報学研究指導ⅢB① | 社会情報学 | | REG633<br>REG634 | | | | | 本年度休講 |
| | 社会情報学研究指導Ⅲ② | | 社会情報学研究指導ⅢA②<br>社会情報学研究指導ⅢB② | 社会情報学 | | REG635<br>REG636 | 春<br>秋 | | 教　授 | 中　村　　功 | |
| | 社会情報学研究指導Ⅳ | | 社会情報学研究指導ⅣA<br>社会情報学研究指導ⅣB | 情　報　学 | | REG637<br>REG638 | 春<br>秋 | | 教　授 | 海　野　　敏 | |
| | 社会情報学研究指導Ⅴ | | 社会情報学研究指導ⅤA<br>社会情報学研究指導ⅤB | マス・コミュニケーション論 | | REG639<br>REG640 | 春<br>秋 | | 教　授 | 長　　広　美 | |
| | 社会情報学研究指導ⅥA<br>社会情報学研究指導ⅥB | | 社会情報学研究指導ⅥA<br>社会情報学研究指導ⅥB | 広　告　論 | | REG641<br>REG642 | 春<br>秋 | | 准教授 | 薗　部　靖　史 | |

## 修了に必要な単位等

**1）修了要件となる科目で30単位以上修得すること。**

**2）主指導教授の「研究指導」を、毎セメスタ必ず履修すること。**

## 履修方法

1．履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。

2．指導教授は、主指導教授１名・副指導教授１名の計２名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が２名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ毎に３科目（主指導教授１名・副指導教授２名）を上限として、履修・修得することができる（各研究指導は、指定された講義または演習において行う）。

3．主指導教授が担当する「講義」または「演習」は、同一科目を在学中各２回（８単位）まで履修・単位修得することができ、かつ修得した単位は修了単位として認められる。３回目以降（長期履修学生および原級した場合等）の履修・聴講は、成績および単位は認定されるが、修了要件としては扱わない。なお、ここで対象とする「講義」または「演習」は、「研究指導」と共通して開講されるものに限る。

4．履修方法３以外の「講義」または「演習」は、同一科目を在学中何回でも履修・単位修得することができるが、この場合、修了単位として認められるのは、最初に修得した成績および単位のみとする。

5．本表に掲げたものの他、指導教授が教育上必要と認めるときは、学則第８条に基づき、本大学院の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を履修することができる（同一科目は１回目のみ修了要件として扱い、２回目以降の履修によって修得した成績及び単位は認定されるが、修了要件としては扱わない）。
また、上記により履修し修得した単位は、学則第10条の２に基づく、本大学院に入学する前に修得し、本大学院における授業科目の履修により修得したものとみなす単位（既修得単位）と合わせて、10単位を超えない範囲で修了要件に充当することができる。

注）通年制の学生は、「セメスタ」を「年度」と読み替えること。

■専門社会調査士の資格取得希望者は、pp.214 ～ 215を参照のうえ、不明な点があれば、2018年度本学連絡責任者（長津　一史准教授）または大学院教務課窓口に必ず相談すること。

**博士後期課程**

| 授業科目・研究指導 | | | | | | 講義・演習の別 | 職名 | 担当教員 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2014年度以前入学生適用 | 単位 | 2015年度以降入学生適用 | 単位 | 科目ナンバリング | 学期 | | | | |
| 社会学特殊研究Ⅰ | 4 | 社会学特殊研究ⅠA<br>社会学特殊研究ⅠB | 2<br>2 | SOC701<br>SOC702 | 春<br>秋 | 講義 | 教授 | 宇都宮 京子 | 社会学研究指導ⅠA/Bと共通 |
| 社会学特殊研究Ⅱ | 4 | 社会学特殊研究ⅡA<br>社会学特殊研究ⅡB | 2<br>2 | SOC703<br>SOC704 | | 講義 | | | 本年度休講 |
| 社会学特殊研究Ⅲ | 4 | 社会学特殊研究ⅢA<br>社会学特殊研究ⅢB | 2<br>2 | SOC705<br>SOC706 | | 講義 | | | 本年度休講 |
| 社会学特殊研究Ⅳ | 4 | 社会学特殊研究ⅣA<br>社会学特殊研究ⅣB | 2<br>2 | SOC707<br>SOC708 | | 講義 | | | 本年度休講 |
| 社会学特殊研究Ⅴ | 4 | 社会学特殊研究ⅤA<br>社会学特殊研究ⅤB | 2<br>2 | SOC709<br>SOC710 | | 講義 | | | 本年度休講 |
| 社会学特殊研究Ⅵ | 4 | 社会学特殊研究ⅥA<br>社会学特殊研究ⅥB | 2<br>2 | SOC711<br>SOC712 | | 講義 | | | 本年度休講 |
| 文化人類学特殊研究 | 4 | 文化人類学特殊研究ⅠA<br>文化人類学特殊研究ⅠB | 2<br>2 | CUA701<br>CUA702 | | 講義 | | | 本年度休講 |
| 文化人類学特殊研究ⅡA<br>文化人類学特殊研究ⅡB | 2<br>2 | 文化人類学特殊研究ⅡA<br>文化人類学特殊研究ⅡB | 2<br>2 | CUA703<br>CUA704 | 春<br>秋 | 講義 | 教授 | 山本 須美子 | 文化人類学研究指導ⅡA/Bと共通 |
| 社会情報学特殊研究Ⅰ | 4 | 社会情報学特殊研究ⅠA<br>社会情報学特殊研究ⅠB | 2<br>2 | SOC713<br>SOC714 | 春<br>秋 | 講義 | 教授 | 海野 敏 | 社会情報学研究指導ⅠA/Bと共通 |
| 社会情報学特殊研究Ⅱ | 4 | 社会情報学特殊研究ⅡA<br>社会情報学特殊研究ⅡB | 2<br>2 | SOC715<br>SOC716 | 春<br>秋 | 講義 | 教授 | 水野 剛也 | 社会情報学研究指導ⅡA/Bと共通 |
| 社会情報学特殊研究Ⅲ | 4 | 社会情報学特殊研究ⅢA<br>社会情報学特殊研究ⅢB | 2<br>2 | SOC717<br>SOC718 | 春<br>秋 | 講義 | 教授 | 中村 功 | 社会情報学研究指導ⅢA/Bと共通 |
| 社会情報学特殊研究ⅣA<br>社会情報学特殊研究ⅣB | 2<br>2 | 社会情報学特殊研究ⅣA<br>社会情報学特殊研究ⅣB | 2<br>2 | SOC719<br>SOC720 | 春<br>秋 | 講義 | 教授 | 長 広美 | 社会情報学研究指導ⅣA/Bと共通 |
| 社会学研究指導Ⅰ | | 社会学研究指導ⅠA<br>社会学研究指導ⅠB | | REG701<br>REG702 | 春<br>秋 | | 教授 | 宇都宮 京子 | |
| 社会学研究指導Ⅱ | | 社会学研究指導ⅡA<br>社会学研究指導ⅡB | | REG703<br>REG704 | | | | | 本年度休講 |
| 社会学研究指導Ⅲ | | 社会学研究指導ⅢA<br>社会学研究指導ⅢB | | REG705<br>REG706 | | | | | 本年度休講 |
| 社会学研究指導Ⅳ | | 社会学研究指導ⅣA<br>社会学研究指導ⅣB | | REG707<br>REG708 | | | | | 本年度休講 |
| 社会学研究指導Ⅴ | | 社会学研究指導ⅤA<br>社会学研究指導ⅤB | | REG711<br>REG712 | | | | | 本年度休講 |
| 社会学研究指導Ⅵ | | 社会学研究指導ⅥA<br>社会学研究指導ⅥB | | REG709<br>REG710 | | | | | 本年度休講 |
| 文化人類学研究指導 | | 文化人類学研究指導ⅠA<br>文化人類学研究指導ⅠB | | REG713<br>REG714 | | | | | 本年度休講 |
| 文化人類学研究指導ⅡA<br>文化人類学研究指導ⅡB | | 文化人類学研究指導ⅡA<br>文化人類学研究指導ⅡB | | REG715<br>REG716 | 春<br>秋 | | 教授 | 山本 須美子 | |
| 社会情報学研究指導Ⅰ | | 社会情報学研究指導ⅠA<br>社会情報学研究指導ⅠB | | REG717<br>REG718 | 春<br>秋 | | 教授 | 海野 敏 | |
| 社会情報学研究指導Ⅱ | | 社会情報学研究指導ⅡA<br>社会情報学研究指導ⅡB | | REG719<br>REG720 | 春<br>秋 | | 教授 | 水野 剛也 | |
| 社会情報学研究指導Ⅲ | | 社会情報学研究指導ⅢA<br>社会情報学研究指導ⅢB | | REG721<br>REG722 | 春<br>秋 | | 教授 | 中村 功 | |
| 社会情報学研究指導ⅣA<br>社会情報学研究指導ⅣB | | 社会情報学研究指導ⅣA<br>社会情報学研究指導ⅣB | | REG723<br>REG724 | 春<br>秋 | | 教授 | 長 広美 | |

## 修了に必要な単位等

**主指導教授の「研究指導」を、毎セメスタ必ず履修すること。**

## 履修方法

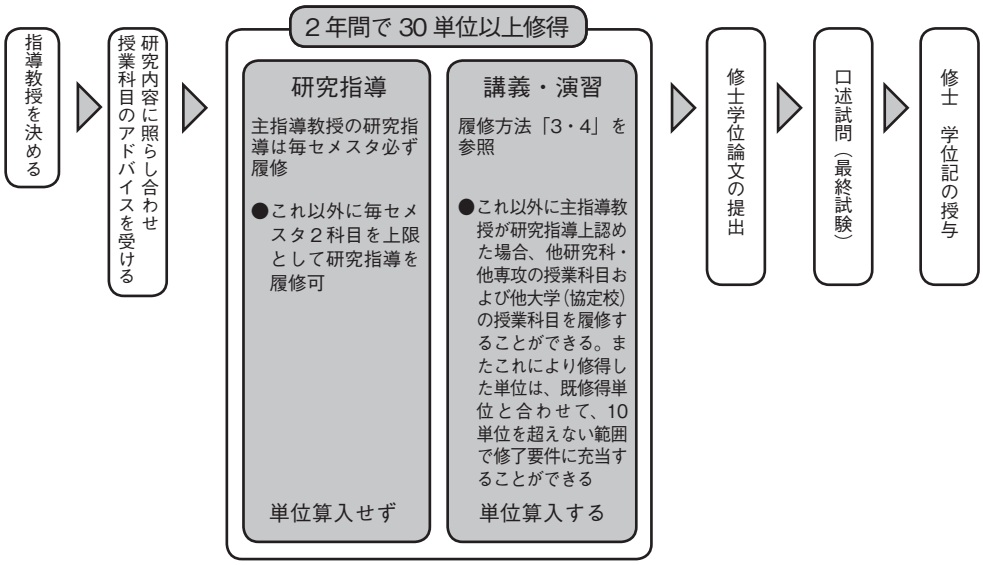
1．履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
2．指導教授は、主指導教授１名・副指導教授１名の計２名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が２名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ毎に３科目（主指導教授１名･副指導教授２名）を上限として、履修・修得することができる（各研究指導は、指定された講義において行う）。
3．本表に掲げたものの他、指導教授が研究指導上必要と認めた場合は、本大学院の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を履修することができる。

注）通年制の学生は、「セメスタ」を「年度」と読み替えること。

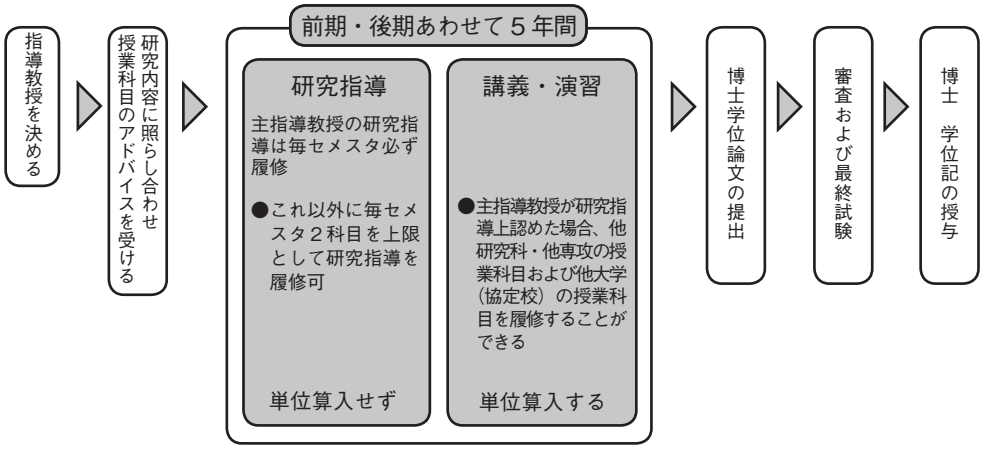
■専門社会調査士の資格取得希望者は、pp.214 ～ 215を参照のうえ、不明な点があれば、2018年度本学連絡責任者（長津　一史准教授）または大学院教務課窓口に必ず相談すること。
（資格申請のための要件のうち、p.214（2）①の科目は、博士前期課程開講科目のため、修得した成績及び単位は認定されるが、修了要件としては扱わない）

# 社会心理学専攻

前期課程　履修の流れ




後期課程　履修の流れ




ただし、2014年度以前入学生についてはセメスタを年度に読み替える

# 社会心理学専攻

## 博士前期課程

| 授業科目・研究指導 | サブタイトル | 単位 | 科目ナンバリング | 学期 | 講義・演習の別 | 職名 | 担当教員 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基礎社会心理学 | - | 2 | SOP601 | 春 | 講義 | 教授 | 安藤清志 | |
| 外国語表現法A | 英語ライティング | 2 | FLE601 | 春 | 講義 | 非常勤講師(兼担) | トパロフ リュボミール | |
| 外国語表現法B | 英語プレゼンテーション | 2 | FLE602 | 秋 | 講義 | 非常勤講師(兼担) | グラフ デイヴィッド | |
| 社会心理学研究法ⅠA | 情報処理 | 2 | SOP602 | 春 | 講義 | 教授 | 大島尚 | 社会心理学研究指導ⅩA／Bと共通 |
| 社会心理学研究法ⅠB | | 2 | SOP603 | 秋 | | | | |
| 社会心理学研究法ⅡA | 調査法 | 2 | SOC603 | 春 | 講義 | 教授(兼担) | 大谷奈緒子 | |
| 社会心理学研究法ⅡB | | 2 | SOC604 | 秋 | 講義 | 教授 | 山田一成 | |
| 社会心理学研究法ⅢA | 統計解析および多変量解析 | 2 | SOC605 | 春 | 講義 | 非常勤講師 | 久保沙織 | |
| 社会心理学研究法ⅢB | | 2 | SOC606 | 秋 | | | | |
| 社会心理学研究法Ⅳ | 質的調査法1 | 2 | SOC607 | 春 | 講義 | 准教授(兼担) | 長津一史 | |
| 社会心理学研究法Ⅴ | 質的調査法2 | 2 | SOC608 | 秋 | 講義 | 教授(兼担) | 水野剛也 | |
| 社会心理学研究法ⅥA | 実験法 | 2 | EXP601 | 春 | 講義 | 准教授 | 尾崎由佳 | |
| 社会心理学研究法ⅥB | | 2 | EXP602 | 秋 | 講義 | | | |
| 社会心理学特論ⅠA | 認知 | 2 | EXP603 | 春 | 講義 | 准教授 | 尾崎由佳 | 社会心理学研究指導ⅡA／Bと共通 |
| 社会心理学特論ⅠB | | 2 | EXP604 | 秋 | | | | |
| 社会心理学特論ⅡA | 対人関係 | 2 | SOP604 | 春 | 講義 | 教授 | 片山美由紀 | 社会心理学研究指導ⅩⅠA／Bと共通 |
| 社会心理学特論ⅡB | | 2 | SOP605 | 秋 | | | | |
| 社会心理学特論ⅢA | 発達 | 2 | EDP601 | 春 | 講義 | 教授 | 久保ゆかり | 社会心理学研究指導ⅥA／Bと共通 |
| 社会心理学特論ⅢB | | 2 | EDP602 | 秋 | | | | |
| 社会心理学特論ⅣA | 適応 | 2 | SOP606 | 春 | 講義 | 非常勤講師 | 坂本真士 | 集中講義 |
| 社会心理学特論ⅣB | | 2 | SOP607 | 秋 | | | | |
| 社会心理学特論ⅤA | 感情・動機づけ | 2 | EXP605 | 春 | 講義 | 教授 | 戸梶亜紀彦 | 社会心理学研究指導ⅨA／Bと共通 |
| 社会心理学特論ⅤB | | 2 | EXP606 | 秋 | | | | |
| 社会心理学特論ⅥA | 身体 | 2 | CLI601 | | 講義 | | | 本年度休講 |
| 社会心理学特論ⅥB | | 2 | CLI602 | | | | | |
| 社会心理学特論ⅦA | 健康 | 2 | CLI603 | 春 | 講義 | 教授 | 加藤司 | 社会心理学研究指導ⅩⅡA／Bと共通 |
| 社会心理学特論ⅦB | | 2 | CLI604 | 秋 | | | | |
| 社会心理学演習ⅠA | 態度 | 2 | SOP608 | 春 | 演習 | 教授 | 北村英哉 | 社会心理学研究指導ⅠA／Bと共通 |
| 社会心理学演習ⅠB | | 2 | SOP609 | 秋 | | | | |
| 社会心理学演習ⅡA | 自己 | 2 | SOP610 | 春 | 演習 | 教授 | 安藤清志 | 社会心理学研究指導ⅢA／Bと共通 |
| 社会心理学演習ⅡB | | 2 | SOP611 | 秋 | | | | |
| 社会心理学演習ⅢA | 性格 | 2 | CLI605 | 春 | 演習 | 教授 | 松田英子 | 社会心理学研究指導ⅤA／Bと共通 |
| 社会心理学演習ⅢB | | 2 | CLI606 | 秋 | | | | |
| 社会心理学演習ⅣA | 集団過程 | 2 | SOP612 | 春 | 演習 | 客員教授 | 堀毛一也 | 社会心理学研究指導ⅣA／Bと共通 |
| 社会心理学演習ⅣB | | 2 | SOP613 | 秋 | | | | |
| 社会心理学演習ⅤA | 犯罪 | 2 | CLI607 | 春 | 演習 | 教授 | 桐生正幸 | 社会心理学研究指導ⅦA／Bと共通 |
| 社会心理学演習ⅤB | | 2 | CLI608 | 秋 | | | | |
| 社会心理学演習ⅥA | 社会意識 | 2 | SOP614 | 春 | 演習 | 教授 | 山田一成 | 社会心理学研究指導ⅧA／Bと共通 |
| 社会心理学演習ⅥB | | 2 | SOP615 | 秋 | | | | |
| 社会心理学総合研究A① | | 1 | SEM601 | 春 | 演習 | 教授 | 安藤清志 | |
| 社会心理学総合研究B① | | 1 | SEM602 | 秋 | | | | |
| 社会心理学総合研究A② | | 1 | SEM603 | | 演習 | | | 本年度休講 |
| 社会心理学総合研究B② | | 1 | SEM604 | | | | | |
| 社会心理学総合研究A③ | | 1 | SEM605 | 春 | 演習 | 准教授 | 尾崎由佳 | |
| 社会心理学総合研究B③ | | 1 | SEM606 | 秋 | | | | |
| 社会心理学総合研究A④ | | 1 | SEM607 | 春 | 演習 | 教授 | 片山美由紀 | |
| 社会心理学総合研究B④ | | 1 | SEM608 | 秋 | | | | |
| 社会心理学総合研究A⑤ | | 1 | SEM609 | 春 | 演習 | 教授 | 久保ゆかり | |
| 社会心理学総合研究B⑤ | | 1 | SEM610 | 秋 | | | | |
| 社会心理学総合研究A⑥ | | 1 | SEM611 | 春 | 演習 | 教授 | 戸梶亜紀彦 | |
| 社会心理学総合研究B⑥ | | 1 | SEM612 | 秋 | | | | |
| 社会心理学総合研究A⑦ | | 1 | SEM613 | | 演習 | | | 本年度休講 |
| 社会心理学総合研究B⑦ | | 1 | SEM614 | | | | | |
| 社会心理学総合研究A⑧ | | 1 | SEM615 | 春 | 演習 | 教授 | 北村英哉 | |
| 社会心理学総合研究B⑧ | | 1 | SEM616 | 秋 | | | | |

| 授業科目・研究指導 | サブタイトル | 単位 | 科目ナンバリング | 学期 | 講義・演習の別 | 職名 | 担当教員 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 社会心理学総合研究A⑨ | | 1 | SEM617 | 春 | 演習 | 教授 | 松田英子 | |
| 社会心理学総合研究B⑨ | | 1 | SEM618 | 秋 | | | | |
| 社会心理学総合研究A⑩ | | 1 | SEM619 | | 演習 | | | 本年度休講 |
| 社会心理学総合研究B⑩ | | 1 | SEM620 | | | | | |
| 社会心理学総合研究A⑪ | | 1 | SEM621 | 春 | 演習 | 教授 | 桐生正幸 | |
| 社会心理学総合研究B⑪ | | 1 | SEM622 | 秋 | | | | |
| 社会心理学総合研究A⑫ | | 1 | SEM623 | 春 | 演習 | 教授 | 山田一成 | |
| 社会心理学総合研究B⑫ | | 1 | SEM624 | 秋 | | | | |
| 社会心理学総合研究A⑬ | | 1 | SEM625 | 春 | 演習 | 教授 | 加藤司 | |
| 社会心理学総合研究B⑬ | | 1 | SEM626 | 秋 | | | | |
| 社会心理学研究指導ⅠA | 態度 | | REG601 | 春 | | 教授 | 北村英哉 | |
| 社会心理学研究指導ⅠB | | | REG602 | 秋 | | | | |
| 社会心理学研究指導ⅡA | 認知 | | REG603 | 春 | | 准教授 | 尾崎由佳 | |
| 社会心理学研究指導ⅡB | | | REG604 | 秋 | | | | |
| 社会心理学研究指導ⅢA | 自己 | | REG605 | 春 | | 教授 | 安藤清志 | |
| 社会心理学研究指導ⅢB | | | REG606 | 秋 | | | | |
| 社会心理学研究指導ⅣA | 集団過程 | | REG607 | 春 | | 客員教授 | 堀毛一也 | |
| 社会心理学研究指導ⅣB | | | REG608 | 秋 | | | | |
| 社会心理学研究指導ⅤA | 性格 | | REG609 | 春 | | 教授 | 松田英子 | |
| 社会心理学研究指導ⅤB | | | REG610 | 秋 | | | | |
| 社会心理学研究指導ⅥA | 発達 | | REG611 | 春 | | 教授 | 久保ゆかり | |
| 社会心理学研究指導ⅥB | | | REG612 | 秋 | | | | |
| 社会心理学研究指導ⅦA | 犯罪 | | REG613 | 春 | | 教授 | 桐生正幸 | |
| 社会心理学研究指導ⅦB | | | REG614 | 秋 | | | | |
| 社会心理学研究指導ⅧA | 社会意識 | | REG615 | 春 | | 教授 | 山田一成 | |
| 社会心理学研究指導ⅧB | | | REG616 | 秋 | | | | |
| 社会心理学研究指導ⅨA | 感情・動機づけ | | REG617 | 春 | | 教授 | 戸梶亜紀彦 | |
| 社会心理学研究指導ⅨB | | | REG618 | 秋 | | | | |
| 社会心理学研究指導ⅩA | 情報処理 | | REG619 | 春 | | 教授 | 大島尚 | |
| 社会心理学研究指導ⅩB | | | REG620 | 秋 | | | | |
| 社会心理学研究指導ⅪA | 対人関係 | | REG621 | 春 | | 教授 | 片山美由紀 | |
| 社会心理学研究指導ⅪB | | | REG622 | 秋 | | | | |
| 社会心理学研究指導ⅫA | 健康 | | REG623 | 春 | | 教授 | 加藤司 | |
| 社会心理学研究指導ⅫB | | | REG624 | 秋 | | | | |

## 修了に必要な単位等

**1）修了要件となる科目で30単位以上修得すること。**
**2）主指導教授の「研究指導」を、毎セメスタ必ず履修すること。**

## 履修方法

1．履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
2．指導教授は、主指導教授１名・副指導教授１名の計２名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が２名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ毎に３科目（主指導教授１名･副指導教授２名）を上限として、履修・修得することができる（各研究指導は、指定された講義または演習において行う）。
3．主指導教授が担当する「講義」または「演習」は、同一科目を在学中各２回（８単位）まで履修・単位修得することができ、かつ修得した単位は修了単位として認められる。
　３回目以降（長期履修学生および原級した場合等）の履修・聴講は、成績および単位は認定されるが、修了要件としては扱わない。なお、ここで対象とする「講義」または「演習」は、「研究指導」と共通して開講されるものに限る。
4．履修方法３以外の「講義」または「演習」は、同一科目を在学中何回でも履修・単位修得することができるが、この場合、修了単位として認められるのは、最初に修得した成績および単位のみとする。
5．本表に掲げたものの他、指導教授が教育上必要と認めるときは、学則第８条に基づき、本大学院の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を履修することができる（同一科目は１回目のみ修了要件として扱い、２回目以降の履修によって修得した成績及び単位は認定されるが、修了要件としては扱わない）。
　また、上記により履修し修得した単位は、学則第10条の２に基づく、本大学院に入学する前に修得し、本大学院における授業科目の履修により修得したものとみなす単位（既修得単位）と合わせて、10単位を超えない範囲で修了要件に充当することができる。

■専門社会調査士の資格取得希望者は、pp.214 ～ 215を参照のうえ、不明な点があれば、2018年度本学連絡責任者（長津　一史准教授）または大学院教務課窓口に必ず相談すること。

## 博士後期課程

| 授業科目・研究指導 | | | | | | 講義・演習の別 | 職名 | 担当教員 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2014年度以前入学生適用 | 単位 | 2015年度以降入学生適用 | 単位 | 科目ナンバリング | 学期 | | | | |
| 社会心理学特殊研究Ⅰ | 4 | 社会心理学特殊研究ⅠA<br>社会心理学特殊研究ⅠB | 2<br>2 | PSY701<br>PSY702 | 春<br>秋 | 講義 | 教授 | 大島　尚 | 社会心理学研究指導ⅤA／Bと共通 |
| 社会心理学特殊研究Ⅱ | 4 | 社会心理学特殊研究ⅡA<br>社会心理学特殊研究ⅡB | 2<br>2 | PSY703<br>PSY704 | 春<br>秋 | 講義 | 教授 | 加藤　司 | 社会心理学研究指導ⅠA／Bと共通 |
| 社会心理学特殊研究Ⅲ | 4 | 社会心理学特殊研究ⅢA<br>社会心理学特殊研究ⅢB | 2<br>2 | PSY705<br>PSY706 | 春<br>秋 | 講義 | 教授 | 北村英哉 | 社会心理学研究指導ⅧA／Bと共通 |
| 社会心理学特殊研究Ⅳ | 4 | 社会心理学特殊研究ⅣA<br>社会心理学特殊研究ⅣB | 2<br>2 | PSY707<br>PSY708 | 春<br>秋 | 講義 | 教授 | 安藤清志 | 社会心理学研究指導ⅡA／Bと共通 |
| 社会心理学特殊研究Ⅴ | 4 | 社会心理学特殊研究ⅤA<br>社会心理学特殊研究ⅤB | 2<br>2 | PSY709<br>PSY710 | 春<br>秋 | 講義 | 教授 | 松田英子 | 社会心理学研究指導ⅦA／Bと共通 |
| 社会心理学特殊研究Ⅵ | 4 | 社会心理学特殊研究ⅥA<br>社会心理学特殊研究ⅥB | 2<br>2 | PSY711<br>PSY712 | 春<br>秋 | 講義 | 教授 | 久保ゆかり | 社会心理学研究指導ⅨA／Bと共通 |
| 社会心理学特殊研究Ⅶ | 4 | 社会心理学特殊研究ⅦA<br>社会心理学特殊研究ⅦB | 2<br>2 | PSY713<br>PSY714 | 春<br>秋 | 講義 | 客員教授 | 堀毛一也 | 社会心理学研究指導ⅢA／Bと共通 |
| 社会心理学特殊研究Ⅷ | 4 | 社会心理学特殊研究ⅧA<br>社会心理学特殊研究ⅧB | 2<br>2 | PSY715<br>PSY716 | 春<br>秋 | 講義 | 教授 | 戸梶亜紀彦 | 社会心理学研究指導ⅩA／Bと共通 |
| 社会心理学特殊研究Ⅸ | 4 | 社会心理学特殊研究ⅨA<br>社会心理学特殊研究ⅨB | 2<br>2 | PSY717<br>PSY718 | 春<br>秋 | 講義 | 教授 | 桐生正幸 | 社会心理学研究指導ⅣA／Bと共通 |
| 社会心理学特殊研究ⅩA<br>社会心理学特殊研究ⅩB | 2<br>2 | 社会心理学特殊研究ⅩA<br>社会心理学特殊研究ⅩB | 2<br>2 | PSY719<br>PSY720 | 春<br>秋 | 講義 | 准教授 | 尾崎由佳 | 社会心理学研究指導ⅥA／Bと共通 |
| 社会心理学特殊研究ⅪA<br>社会心理学特殊研究ⅪB | 2<br>2 | 社会心理学特殊研究ⅪA<br>社会心理学特殊研究ⅪB | 2<br>2 | PSY721<br>PSY722 | 春<br>秋 | 講義 | 教授 | 山田一成 | 社会心理学研究指導ⅪA／Bと共通 |
| 社会心理学総合研究① | 2 | 社会心理学総合研究A①<br>社会心理学総合研究B① | 1<br>1 | SEM701<br>SEM702 | | 演習 | | | 本年度休講 |
| 社会心理学総合研究② | 2 | 社会心理学総合研究A②<br>社会心理学総合研究B② | 1<br>1 | SEM703<br>SEM704 | 春<br>秋 | 演習 | 教授 | 加藤　司 | |
| 社会心理学総合研究③ | 2 | 社会心理学総合研究A③<br>社会心理学総合研究B③ | 1<br>1 | SEM705<br>SEM706 | 春<br>秋 | 演習 | 教授 | 北村英哉 | |
| 社会心理学総合研究④ | 2 | 社会心理学総合研究A④<br>社会心理学総合研究B④ | 1<br>1 | SEM707<br>SEM708 | 春<br>秋 | 演習 | 教授 | 安藤清志 | |
| 社会心理学総合研究⑤ | 2 | 社会心理学総合研究A⑤<br>社会心理学総合研究B⑤ | 1<br>1 | SEM709<br>SEM710 | 春<br>秋 | 演習 | 教授 | 松田英子 | |
| 社会心理学総合研究⑥ | 2 | 社会心理学総合研究A⑥<br>社会心理学総合研究B⑥ | 1<br>1 | SEM711<br>SEM712 | 春<br>秋 | 演習 | 教授 | 久保ゆかり | |
| 社会心理学総合研究⑦ | 2 | 社会心理学総合研究A⑦<br>社会心理学総合研究B⑦ | 1<br>1 | SEM713<br>SEM714 | | 演習 | | | 本年度休講 |
| 社会心理学総合研究⑧ | 2 | 社会心理学総合研究A⑧<br>社会心理学総合研究B⑧ | 1<br>1 | SEM715<br>SEM716 | 春<br>秋 | 演習 | 教授 | 戸梶亜紀彦 | |
| 社会心理学総合研究⑨ | 2 | 社会心理学総合研究A⑨<br>社会心理学総合研究B⑨ | 1<br>1 | SEM717<br>SEM718 | 春<br>秋 | 演習 | 教授 | 桐生正幸 | |
| 社会心理学総合研究A⑩<br>社会心理学総合研究B⑩ | 1<br>1 | 社会心理学総合研究A⑩<br>社会心理学総合研究B⑩ | 1<br>1 | SEM719<br>SEM720 | 春<br>秋 | 演習 | 准教授 | 尾崎由佳 | |
| 社会心理学総合研究A⑪<br>社会心理学総合研究B⑪ | 1<br>1 | 社会心理学総合研究A⑪<br>社会心理学総合研究B⑪ | 1<br>1 | SEM721<br>SEM722 | 春<br>秋 | 演習 | 教授 | 山田一成 | |
| 社会心理学研究指導Ⅰ | | 社会心理学研究指導ⅠA<br>社会心理学研究指導ⅠB | | REG701<br>REG702 | 春<br>秋 | | 教授 | 加藤　司 | |
| 社会心理学研究指導Ⅱ | | 社会心理学研究指導ⅡA<br>社会心理学研究指導ⅡB | | REG703<br>REG704 | 春<br>秋 | | 教授 | 安藤清志 | |
| 社会心理学研究指導Ⅲ | | 社会心理学研究指導ⅢA<br>社会心理学研究指導ⅢB | | REG705<br>REG706 | 春<br>秋 | | 客員教授 | 堀毛一也 | |
| 社会心理学研究指導Ⅳ | | 社会心理学研究指導ⅣA<br>社会心理学研究指導ⅣB | | REG707<br>REG708 | 春<br>秋 | | 教授 | 桐生正幸 | |
| 社会心理学研究指導Ⅴ | | 社会心理学研究指導ⅤA<br>社会心理学研究指導ⅤB | | REG709<br>REG710 | 春<br>秋 | | 教授 | 大島　尚 | |
| 社会心理学研究指導ⅥA<br>社会心理学研究指導ⅥB | | 社会心理学研究指導ⅥA<br>社会心理学研究指導ⅥB | | REG711<br>REG712 | 春<br>秋 | | 准教授 | 尾崎由佳 | |
| 社会心理学研究指導ⅦA<br>社会心理学研究指導ⅦB | | 社会心理学研究指導ⅦA<br>社会心理学研究指導ⅦB | | REG713<br>REG714 | 春<br>秋 | | 教授 | 松田英子 | 社会心理学特殊研究ⅤA／Bと共通 |
| 社会心理学研究指導ⅧA<br>社会心理学研究指導ⅧB | | 社会心理学研究指導ⅧA<br>社会心理学研究指導ⅧB | | REG715<br>REG716 | 春<br>秋 | | 教授 | 北村英哉 | 社会心理学特殊研究ⅢA／Bと共通 |
| 社会心理学研究指導ⅨA<br>社会心理学研究指導ⅨB | | 社会心理学研究指導ⅨA<br>社会心理学研究指導ⅨB | | REG717<br>REG718 | 春<br>秋 | | 教授 | 久保ゆかり | |
| 社会心理学研究指導ⅩA<br>社会心理学研究指導ⅩB | | 社会心理学研究指導ⅩA<br>社会心理学研究指導ⅩB | | REG719<br>REG720 | 春<br>秋 | | 教授 | 戸梶亜紀彦 | |
| 社会心理学研究指導ⅪA<br>社会心理学研究指導ⅪB | | 社会心理学研究指導ⅪA<br>社会心理学研究指導ⅪB | | REG721<br>REG722 | 春<br>秋 | | 教授 | 山田一成 | |

## 修了に必要な単位等

**主指導教授の「研究指導」を、毎セメスタ必ず履修すること。**

## 履修方法

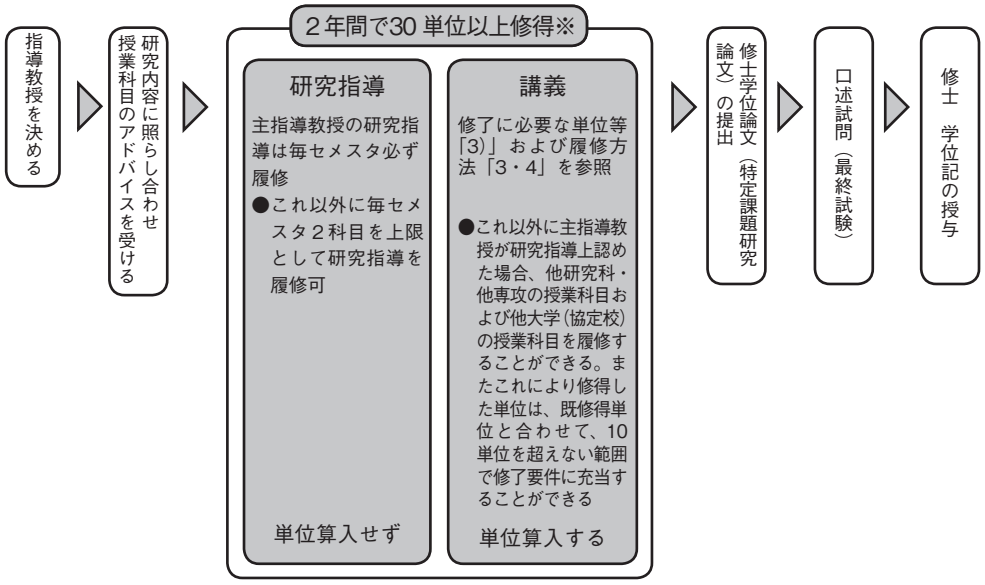
１．履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
２．指導教授は、主指導教授１名・副指導教授１名の計２名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が２名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ毎に３科目（主指導教授１名･副指導教授２名）を上限として、履修・修得することができる（各研究指導は、指定された講義において行う）。
３．本表に掲げたものの他、指導教授が研究指導上必要と認めた場合は、本大学院の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を履修することができる。

注）通年制の学生は、「セメスタ」を「年度」と読み替えること。

■専門社会調査士の資格取得希望者は、pp.214 ～ 215を参照のうえ、不明な点があれば、2018年度本学連絡責任者（長津　一史准教授）または大学院教務課窓口に必ず相談すること。
（資格申請のための要件のうち、p.215（2）②の科目は、博士前期課程開講科目のため、修得した成績及び単位は認定されるが、修了要件としては扱わない）

# 福祉社会システム専攻

修士課程　履修の流れ




特定課題研究論文を修士学位論文に代える場合は、２年間で36単位以上修得

# 福 祉 社 会 シ ス テ ム 専 攻

## 修士課程

| 区分 | 授業科目 | 単位 | 科目ナンバリング | 学期 | 講義・演習の別 | 職名 | 担当教員 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基礎科目 | 研究基礎論 | 2 | SEM601 | 春 | 講義 | 教授<br>教授<br>教授<br>教授<br>教授<br>教授<br>教授<br>准教授<br>准教授<br>准教授 | 小澤浩明<br>紀葉子<br>須田木綿子<br>高山直樹<br>藤林慶子<br>文貞實<br>松本誠一<br>荻野剛史<br>榊原圭子<br>村尾祐美子 | **必修科目**<br>オムニバス方式 |
| | 実践知と理論 | 2 | SEM602 | 秋 | 講義 | 教授<br>教授 | 紀葉子<br>藤林慶子 | **必修科目**<br>オムニバス方式 |
| | 現代社会論 | 2 | SOC601 | 春 | 講義 | 教授 | 紀葉子 | |
| | 社会調査論 | 2 | SOC602 | 春 | 講義 | 非常勤講師 | 小山弘美 | |
| | 研究方法論A（量的データの分析） | 2 | SOC603 | 春 | 講義 | 非常勤講師 | 大槻茂実 | |
| | 研究方法論B（質的データの分析） | 2 | SOC604 | 秋 | 講義 | 教授 | 文貞實 | |
| 専門科目（社会学系） | 社会学的認識論A | 2 | SOC605 | 春 | 講義 | 教授 | 紀葉子 | 福祉社会システム研究指導ⅠAと共通 |
| | 社会学的認識論B | 2 | SOC606 | 秋 | 講義 | 教授 | 紀葉子 | 福祉社会システム研究指導ⅠBと共通 |
| | グローバリゼーションと現代社会A | 2 | CUA601 | 春 | 講義 | 教授 | 松本誠一 | 福祉社会システム研究指導ⅡAと共通 |
| | グローバリゼーションと現代社会B | 2 | CUA602 | 秋 | 講義 | 教授 | 松本誠一 | 福祉社会システム研究指導ⅡBと共通 |
| | グローバリゼーションとボランティア・非営利組織論 | 2 | SOC607 | 秋 | 講義 | 教授 | 須田木綿子 | |
| | 地域と現代社会A | 2 | SOC608 | 春 | 講義 | 教授 | 文貞實 | 福祉社会システム研究指導ⅢAと共通 |
| | 地域と現代社会B | 2 | SOC609 | 秋 | 講義 | 教授 | 文貞實 | 福祉社会システム研究指導ⅢBと共通 |
| | 教育システムと現代社会A | 2 | SOE601 | 春 | 講義 | 教授 | 小澤浩明 | 福祉社会システム研究指導ⅣAと共通 |
| | 教育システムと現代社会B | 2 | SOE602 | 秋 | 講義 | 教授 | 小澤浩明 | 福祉社会システム研究指導ⅣBと共通 |
| | 雇用・労働システムと現代社会A | 2 | SOC610 | 春 | 講義 | 准教授 | 村尾祐美子 | 福祉社会システム研究指導ⅤAと共通 |
| | 雇用・労働システムと現代社会B | 2 | SOC611 | 秋 | 講義 | 准教授 | 村尾祐美子 | 福祉社会システム研究指導ⅤBと共通 |
| | キャリアデザイン論 | 2 | SOC612 | 秋 | 講義 | 准教授 | 榊原圭子 | |
| | ジェンダーと現代社会 | 2 | SOC613 | 春 | 講義 | 非常勤講師 | 皆川満寿美 | |
| | 子どもと現代社会 | 2 | SOC614 | 秋 | 講義 | 非常勤講師 | 立柳聡 | |
| | 貧困と現代社会 | 2 | SOC615 | 秋 | 講義 | 非常勤講師 | 北川由紀彦 | |
| 専門科目（福祉学系） | 高齢者ケアシステム論A | 2 | SWS601 | 春 | 講義 | 教授 | 須田木綿子 | 福祉社会システム研究指導ⅦAと共通 |
| | 高齢者ケアシステム論B | 2 | SWS602 | 秋 | 講義 | 教授 | 須田木綿子 | 福祉社会システム研究指導ⅦBと共通 |
| | ソーシャルワークと権利擁護論A | 2 | SWS603 | 春 | 講義 | 教授 | 高山直樹 | 福祉社会システム研究指導ⅧAと共通 |
| | ソーシャルワークと権利擁護論B | 2 | SWS604 | 秋 | 講義 | 教授 | 高山直樹 | 福祉社会システム研究指導ⅧBと共通 |
| | 多文化共生システム論A | 2 | SWS605 | 春 | 講義 | 准教授 | 荻野剛史 | 福祉社会システム研究指導ⅨAと共通 |
| | 多文化共生システム論B | 2 | SWS606 | 秋 | 講義 | 准教授 | 荻野剛史 | 福祉社会システム研究指導ⅨBと共通 |
| | グローバリゼーションと社会福祉 | 2 | SWS607 | 秋 | 講義 | 非常勤講師 | 新名正弥 | |
| | ケアマネジメントと地域包括ケアシステム論 | 2 | SWS608 | 春 | 講義 | 教授 | 藤林慶子 | 福祉社会システム研究指導ⅥAと共通 |
| | スーパービジョン・実践評価論 | 2 | SWS609 | 秋 | 演習 | 教授 | 藤林慶子 | 福祉社会システム研究指導ⅥBと共通 |
| | コミュニティケアシステム論 | 2 | SWS610 | 春 | 講義 | 非常勤講師 | 和秀俊 | |
| | ソーシャルワーク論 | 2 | SWS611 | 秋 | 演習 | 非常勤講師 | 久松信夫 | |
| | 障害者ソーシャルワーク論 | 2 | SWS612 | 秋 | 講義 | 非常勤講師 | 大村美保 | |
| | 医療ソーシャルワーク論 | 2 | SWS613 | 秋 | 講義 | 非常勤講師 | 若林浩司 | |
| | 精神保健福祉論 | 2 | SWS614 | 春 | 講義 | 非常勤講師 | 山口創生 | |
| | 保健福祉サービスマネジメント論 | 2 | SWS615 | | 講義 | | | 本年度休講 |
| | 医学と福祉・社会学的課題A | 2 | RSW601 | 春 | 講義 | 非常勤講師 | 高橋龍太郎 | 集中講義 |
| | 医学と福祉・社会学的課題B | 2 | RSW602 | 秋 | 講義 | 非常勤講師 | 高橋龍太郎 | 集中講義 |

| 区分 | 授業科目 | 単位 | 科目ナンバリング | 学期 | 講義・演習の別 | 職名 | 担当教員 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 研究指導 | 福祉社会システム研究指導ⅠA | | REG601 | 春 | 演習 | 教授 | 紀葉子 | |
| | 福祉社会システム研究指導ⅠB | | REG602 | 秋 | 演習 | 教授 | 紀葉子 | |
| | 福祉社会システム研究指導ⅡA | | REG603 | 春 | 演習 | 教授 | 松本誠一 | |
| | 福祉社会システム研究指導ⅡB | | REG604 | 秋 | 演習 | 教授 | 松本誠一 | |
| | 福祉社会システム研究指導ⅢA | | REG605 | 春 | 演習 | 教授 | 文貞實 | |
| | 福祉社会システム研究指導ⅢB | | REG606 | 秋 | 演習 | 教授 | 文貞實 | |
| | 福祉社会システム研究指導ⅣA | | REG607 | 春 | 演習 | 教授 | 小澤浩明 | |
| | 福祉社会システム研究指導ⅣB | | REG608 | 秋 | 演習 | 教授 | 小澤浩明 | |
| | 福祉社会システム研究指導ⅤA | | REG609 | 春 | 演習 | 准教授 | 村尾祐美子 | |
| | 福祉社会システム研究指導ⅤB | | REG610 | 秋 | 演習 | 准教授 | 村尾祐美子 | |
| | 福祉社会システム研究指導ⅥA | | REG611 | 春 | 演習 | 教授 | 藤林慶子 | |
| | 福祉社会システム研究指導ⅥB | | REG612 | 秋 | 演習 | 教授 | 藤林慶子 | |
| | 福祉社会システム研究指導ⅦA | | REG613 | 春 | 演習 | 教授 | 須田木綿子 | |
| | 福祉社会システム研究指導ⅦB | | REG614 | 秋 | 演習 | 教授 | 須田木綿子 | |
| | 福祉社会システム研究指導ⅧA | | REG615 | 春 | 演習 | 教授 | 高山直樹 | |
| | 福祉社会システム研究指導ⅧB | | REG616 | 秋 | 演習 | 教授 | 高山直樹 | |
| | 福祉社会システム研究指導ⅨA | | REG617 | 春 | 演習 | 准教授 | 荻野剛史 | |
| | 福祉社会システム研究指導ⅨB | | REG618 | 秋 | 演習 | 准教授 | 荻野剛史 | |

## 修了に必要な単位等

(1) 修了要件となる科目で30単位以上修得すること。ただし、修士論文に代えて学則第12条の特定の課題についての研究成果により審査を受けようとする者は、修了要件となる科目で36単位以上修得すること。
(2) 主指導教授の「研究指導」を、毎セメスタ必ず履修すること。
(3) 基礎科目
①全体で４科目８単位以上修得すること。
②必修科目２科目４単位を修得すること。
③選択科目から２科目４単位以上修得すること。
(4) 専門科目
①全体で６科目12単位以上修得すること。
②社会学系から３科目６単位を修得すること。
③福祉学系から３科目６単位を修得すること。

## 履修方法

1．履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
2．指導教授は、主指導教授１名・副指導教授１名の計２名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が２名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ毎に３科目（主指導教授１名･副指導教授２名）を上限として、履修・修得することができる。
3．主指導教授が担当する「演習」または「講義」は、在学中各２回（８単位）まで履修・単位修得することができ、かつ修得した単位は修了単位として認められる。
３回目以降（長期履修学生および原級した場合等）の履修・聴講は、成績および単位は認定されるが、修了要件としては扱わない。なお、該当する科目は大学院要覧において定める。
4．履修方法３以外の「演習」または「講義」は、同一科目を在学中何回でも履修・単位修得することができるが、この場合、修了単位として認められるのは、最初に修得した成績および単位のみとする。
5．本表に掲げたものの他、指導教授が教育上必要と認めるときは、学則第８条に基づき、本大学院の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を履修することができる（同一科目は１回目のみ修了要件として扱い、２回目以降の履修によって修得した成績及び単位は認定されるが、修了要件としては扱わない）。
また、上記により履修し修得した単位は、学則第10条の２に基づく、本大学院に入学する前に修得し、本大学院における授業科目の履修により修得したものとみなす単位（既修得単位）と合わせて、10単位を超えない範囲で修了要件に充当することができる。